

乳幼児の基本的な生活習慣を学ぶ

～排泄（オムツの性能）～

授業の目標

- ・乳幼児の排泄状態を知る。
- ・紙オムツの構造がわかる。
- ・布オムツと紙オムツの長所と短所がわかり、利用の仕方を考えることができる。

1. はじめに

義務教育最終学年のこの時期に『乳幼児の生活』についての授業を通して、①神秘的な生命の誕生 ②命の尊さ ③家族・家庭の持つ意味 ④未来への家族像などを含めて学習していくよいチャンスである。

それは、生徒がやがて自立し、社会の一員として生きていくためのまさしく『生きる力』を養うことに繋がると考える。

2. 学習課題

あなたは、布オムツ派？紙オムツ派？

①オムツには、布オムツと紙オムツがあることを知らせ、実物を提示する。

★昔、紙オムツはなく、手作りの布オムツだけであったことを知らせる。今と昔の違いを知らせ、今日に至るまでの暮らし方を理解させる。

★1歳児は、1回分（50cc）のおしっこを1日に15～20回程度することを理解させる。

②それぞれのオムツの通気性・吸水性を調べる。

3. 予想

①それぞれのオムツの通気性・吸水性について、グループで話し合い、予想を立てる→ワークシートにまとめる。

4. 実験

①通気性について

- ・それぞれのオムツをグループの代表者が手に巻く→10分したら手から外す→掌の状態を班員に

伝える→ワークシートに記入する。

- ・鏡の前にそれぞれのオムツを垂らし息を吹きかける→鏡のくもり方を観察する→ワークシートに記入する。

②吸水性について

- ・それぞれのオムツにおしっこ1回分（50cc）の水を漏れるまで垂らす→漏れたところで回数をワークシートに記入する。

★明らかに紙オムツの吸水性が高いことに気づく。

5. 紙オムツを分解・観察

①水を吸収した紙オムツを破り、中を観察する。

★水がゼリー状に固まっていることに気づかせる。

②なぜ、ゼリー状になったのかを新しい紙オムツを破り、観察する。

★白い粒子に気づかせる。

③破いた新しい紙オムツに水を垂らす。

★粒子が水分を吸い、ゼリー状になることを目で確認させる。

6. 紙オムツの構造

①動画により『ポリマー』の性質を知る。

★プレゼンによりポリマーについて、ワークシートにまとめさせる。

★ポリマーを利用した紙オムツは高度な水分吸収力があることがわかる。

7. 布オムツと紙オムツの長所・短所

- ・グループで話し合い、それぞれの長所・短所をワー

クシートにまとめる。

- ・学習課題について、今日の学習から自分の考えをワークシートにまとめる。

★布オムツと紙オムツの長所を活かし、短所を補う利用方法がわかる。

★乳幼児の気持ちや自分がお父さん・お母さんになった時のことを考えさせる機会とする。

8. 授業を展開しての生徒の反応

- ①紙オムツを実際に破いて観察する時の生徒の興味・関心は非常に高かった。
- ②布オムツがあることに驚いていた。
- ③ICTを活用して動画を視聴した時の生徒の集中力が高まった。
- ④生徒は、ポリマーの変化に興味を持ち、実験に積極的に取り組んでいた。
- ⑤体験を通じた授業であったため生徒の心に残る授業展開となった。

9. 終わりに

今回の授業や日頃から日常生活の身近な物を使用した実験・実習は、より具体的で生徒の興味・関心を引き出すことができる。

しかも、言語活動を通して、生徒が自分の考えを持ち、相手の考えを尊重し、さらに自分の考えを相手に伝えていくためには中学3年生の技術・家庭科の授業が隔週1時間ではいかんせん足りなさ過ぎる。

今後、授業の充実を図るためにも技術・家庭科の時間を増やすことを願いたい。

